

2019年度（2020年3月期） 第2四半期 決算説明会

2019年 11月14日



みんなを「つなぐ」と
未来はもっと明るく楽しい

トータル ICT ソリューションで、人と人、人と社会をつなぎ、
笑顔あふれる未来の実現に貢献します。

株式会社 協和エクシオ

1. 2019年度 第2四半期業績

(1) 概要	…	2
(2) 受注高	…	3
(3) 売上高	…	4
(4) 営業利益	…	5
(5) 西日本3社とのシナジー	…	7
(6) キャッシュフロー	…	8

2. 2019年度 通期見通し

(1) 概要	…	9
(2) NTTグループ（アクセス、ネットワーク）	…	10
(3) NTTグループ（モバイル）	…	11
(4) NCC	…	12
(5) 都市インフラ	…	14
(6) システムソリューション	…	15

3. M&A戦略

(1) 事業領域別の展開イメージ	…	18
------------------	---	----

4. ESG、SDGsに関する取り組み

(1) ESGの取り組み	…	19
(2) SDGsへの取り組み	…	20

5. 株主価値の向上

(1) 株主還元施策	…	21
(2) 2019年度株主還元計画等	…	22

6. トピックス

(1) 北第百通信電気,SPSをグループ化	…	23
(2) 永和ビルテック,Winner Eをグループ化	…	24

1. 2019年度 第2四半期業績



(1) 概要

- ◆ オーガニックな業績拡大に加え、西日本3社との経営統合等により大幅増収
- ◆ グループ会社の増加等により販管費は増えたが、西日本3社の寄与もあり大幅増益

■ 業績（連結）

（単位：億円）

	19.3期(18年度)		20.3期(19年度)	
	第2四半期 累計期間 A	通 期 B	第2四半期累計期間	
			実 績 C	前期比 C/A
受 注 高	1,747	4,243	2,851	163%
売 上 高	1,328	4,237	2,123	160%
売 上 総 利 益	(13.3%) 177	(13.8%) 583	(13.3%) 281	159%
販 管 費	(6.9%) 91	(6.3%) 266	(8.2%) 174	190%
営 業 利 益	(6.4%) 85	(7.5%) 317	(5.1%) 107	126%
経 常 利 益	(6.7%) 89	(7.9%) 334	(5.0%) 106	119%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(4.4%) 58	(9.5%) 402	(3.0%) 62	106%

注1) 億円未満は切り捨てています。 注2) () 内は売上高に対する割合です。

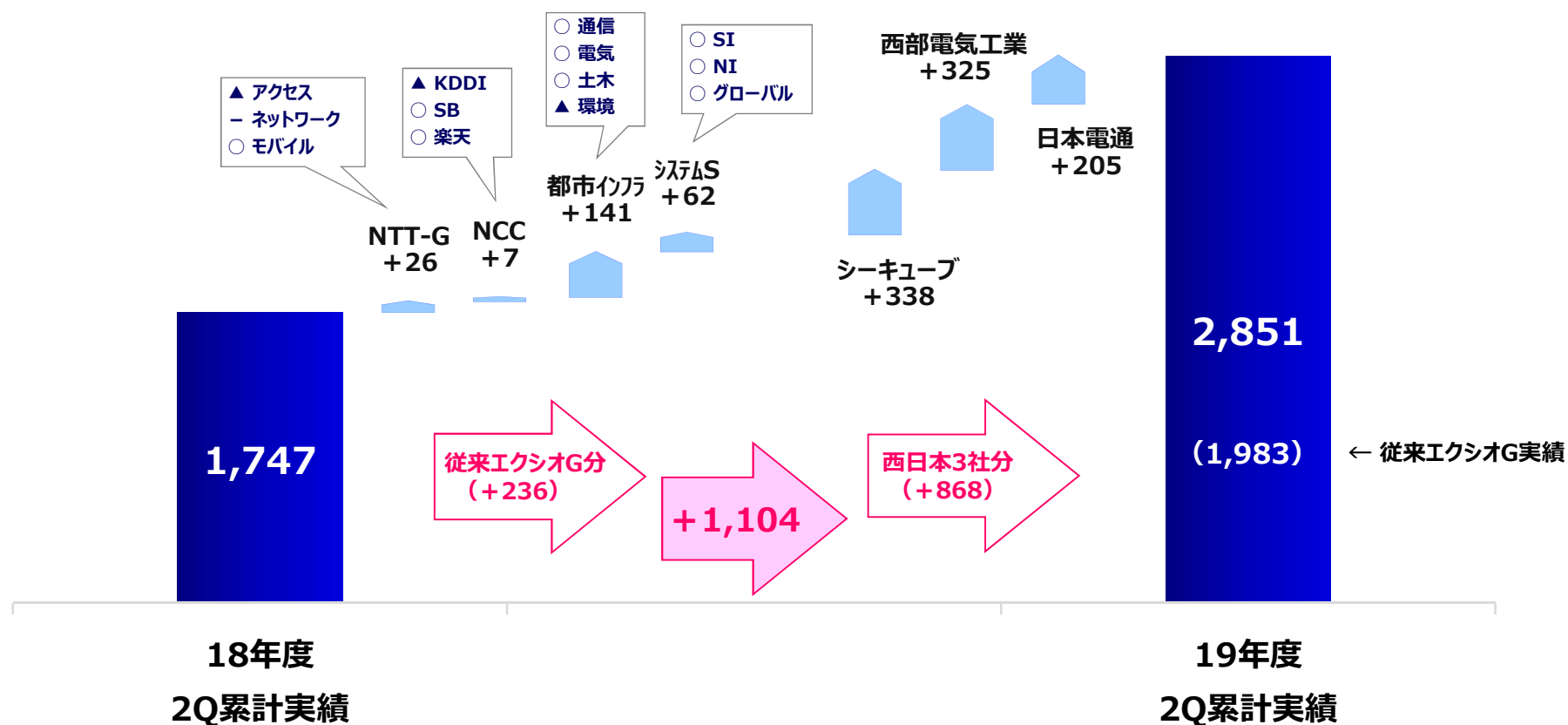
1. 2019年度 第2四半期業績



(2) 受注高

◆ 各セグメント好調かつ都市インフラで大型受注があり大幅増となり、西日本3社も好調

(単位：億円)



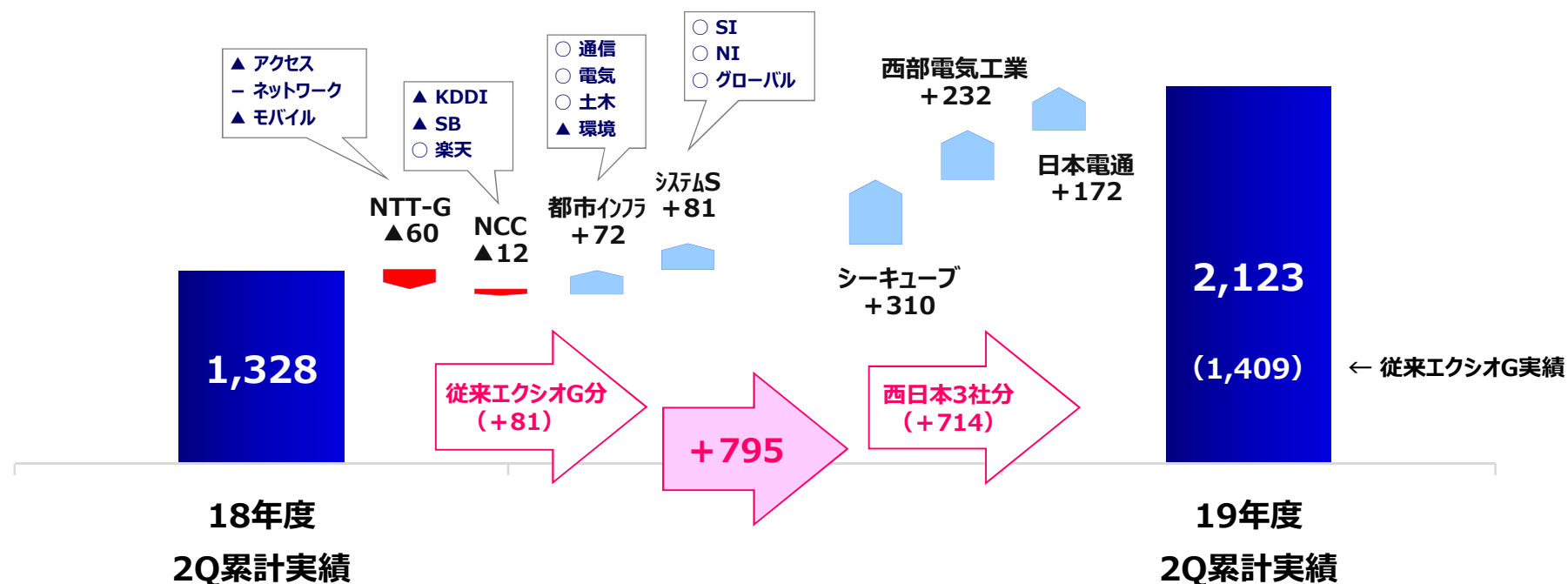
1. 2019年度 第2四半期業績



(3) 売上高

◆ 各セグメントで一部工事において工期延伸があるも、好調な受注を背景に順調に推移

(単位：億円)



○：増要因 ▲：減要因 -：増減なし

注) 億円未満は切り捨てています。

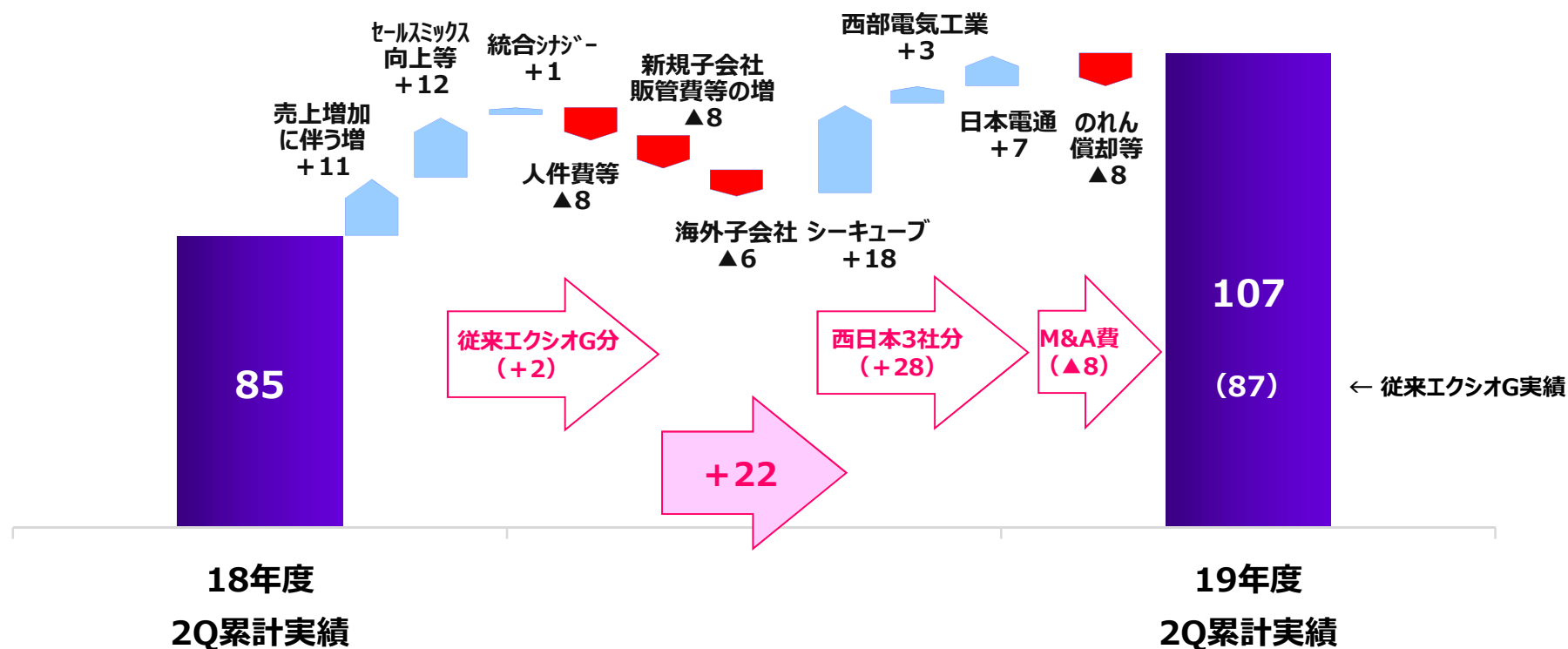
1. 2019年度 第2四半期業績



(4) 営業利益

◆ 新規連結やM&Aに伴い販管費が増加するも、西日本3社の寄与もあり大幅増益

(単位：億円)



注) 億円未満は切り捨てています。

1. 2019年度 第2四半期業績

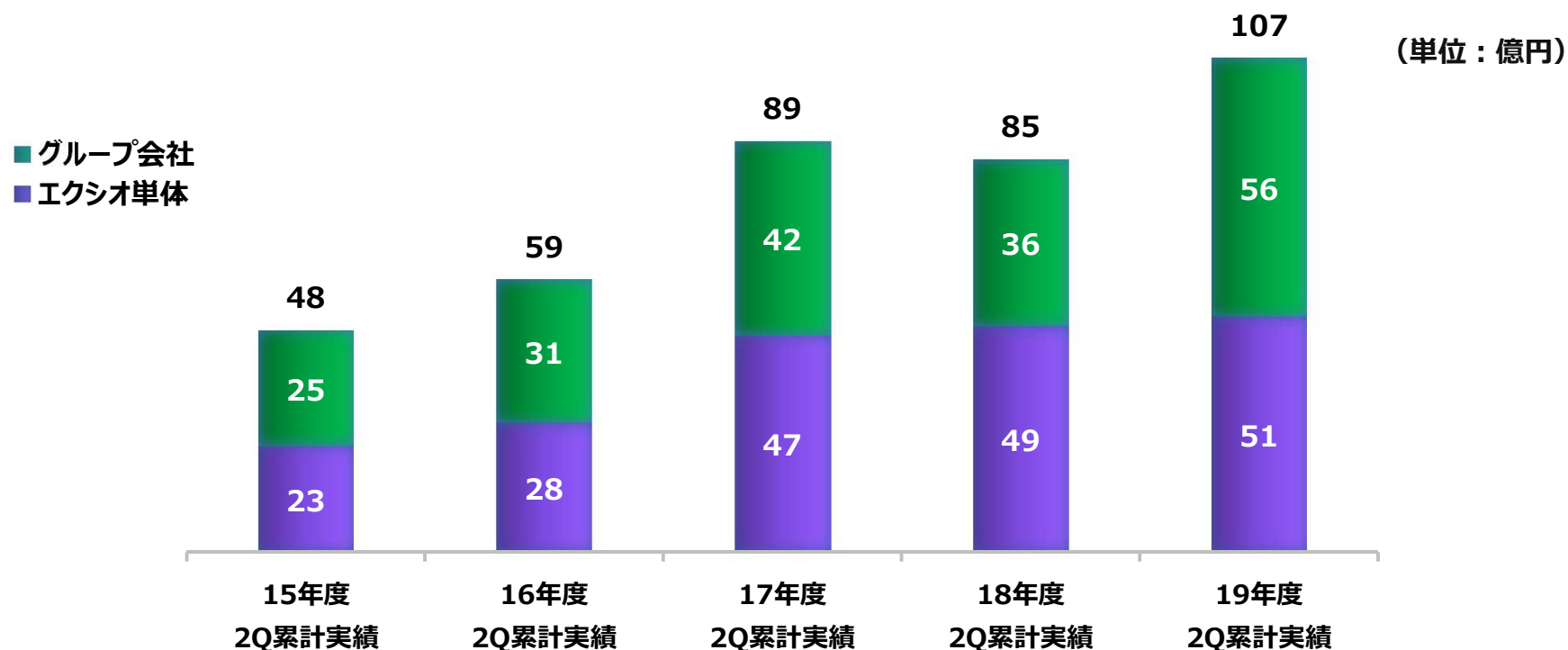


＜参考＞ グループ会社の利益推移

◆ グループ会社の業績も好調で、連単倍率は引き続き高水準を維持

■ 営業利益の過去5年間の推移（連・単）

（連単倍率）	（2.1）	（2.1）	（1.9）	（1.8）	（2.1）
--------	-------	-------	-------	-------	-------



注1) 連単倍率＝連結営業利益÷単体営業利益

注2) 億円未満は切り捨てています。

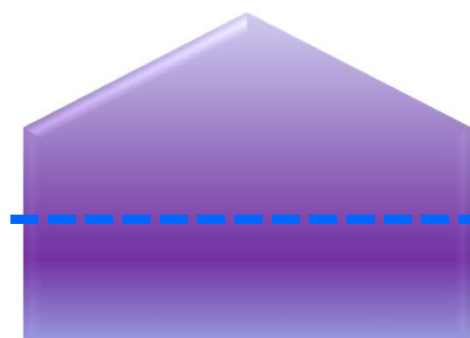
1. 2019年度 第2四半期業績

(5) 西日本3社とのシナジー

◆ 西日本3社との連携により、エクシオグループ全体で統合シナジーを創出

- 各事業セグメント毎に営業連携、施工連携スタート
- グループ内資金の有効活用や共同調達等による業務効率化およびコスト圧縮
- 社内システム・業務フローの統合（アクセス系共同利用システムを開発中）

5億円／年間目標



19年度

連結ベースで
2億円程度の効果

19-2Q時点

1. 2019年度 第2四半期業績



(6) キャッシュフロー

◆ キャッシュフローは安定しており、手持資金も潤沢

■ キャッシュフロー（連結）

（単位：億円）

	16年度	17年度	18年度		19年度
			2Q	通期	2Q
期首手持資金	160	152	303	303	414
営業CF	155	248	156	127	114
投資CF	▲60	▲45	▲95	▲176	▲52
財務CF	▲102	▲51	▲53	▲49	▲52
株式交換に伴う現金等の増減				210	
期末手持資金	152	303	311	414	424

注）億円未満は切り捨てています。

2. 2019年度 通期見通し



(1) 概要

- ◆ オーガニック成長および西日本3社の通年寄与で、トップラインは過去最高を見込む
- ◆ 新規連結効果や統合シナジーの創出により、最高益の更新を見込む

■ 業績 (連結)

(単位：億円)

	19.3期(18年度)		20.3期(19年度)				
	第2四半期 累計期間 A	通 期 B	第2四半期累計期間			通 期	
			実 績 C	前期比 C/A	対通期計画 進捗率 C/D	計 画 D	前期比 D/B
受 注 高	1,747	4,243	2,851	163%	58%	4,950	117%
売 上 高	1,328	4,237	2,123	160%	43%	4,950	117%
売 上 総 利 益	(13.3%) 177	(13.8%) 583	(13.3%) 281	159%	42%	(13.4%) 663	114%
販 管 費	(6.9%) 91	(6.3%) 266	(8.2%) 174	190%	51%	(6.9%) 343	129%
営 業 利 益	(6.4%) 85	(7.5%) 317	(5.1%) 107	126%	34%	(6.5%) 320	101%
経 常 利 益	(6.7%) 89	(7.9%) 334	(5.0%) 106	119%	32%	(6.6%) 328	98%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(4.4%) 58	(9.5%) 402	(3.0%) 62	106%	29%	(4.4%) 218	54%

注1) 億円未満は切り捨てています。 注2) () 内は売上高に対する割合です。

2. 2019年度 通期見通し

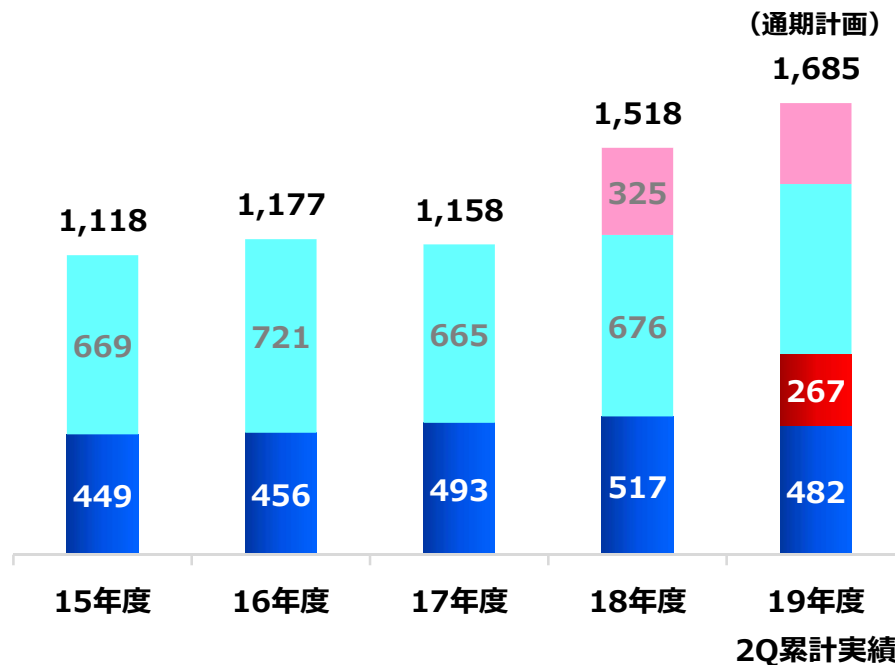
(2) NTTグループ（アクセス、ネットワーク）

- ◆ 光開通工事も堅調、かつ保守や災害対策工事も近年徐々に増加
- ◆ モバイルトラフィックの増加に伴いNTTビル内の電力工事等も堅調

■ NTTグループ（固定系）の売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 従来エクシオG 2Q累計実績 ■ 西日本3社 2Q累計実績
■ 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分



■ NTTグループの災害対策の取組み

1. 通信ネットワークの信頼性向上
（伝送路の複数ルート化など）

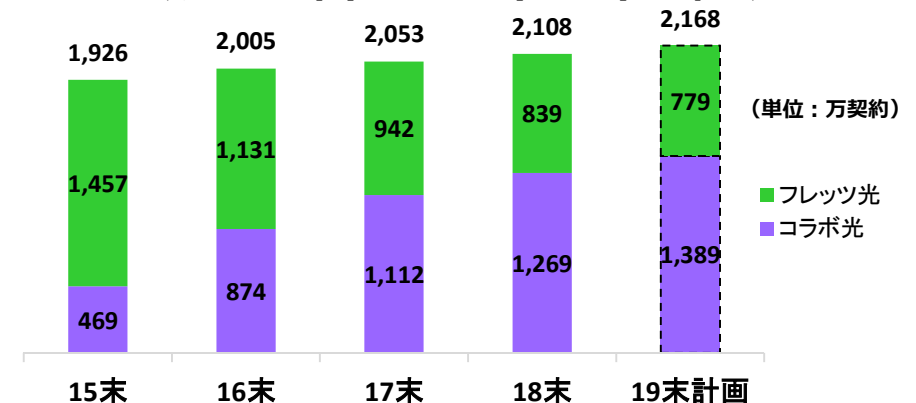
3. 早期復旧 2. 重要通信の確保



- ・ 通信インフラを更に強く（通信設備の集約等）
- ・ プロアクティブな災害対応
- ・ 適切な情報発信

（出所：NTT発表資料より当社作成）

■ NTTグループの固定ブロードバンド契約数



2. 2019年度 通期見通し

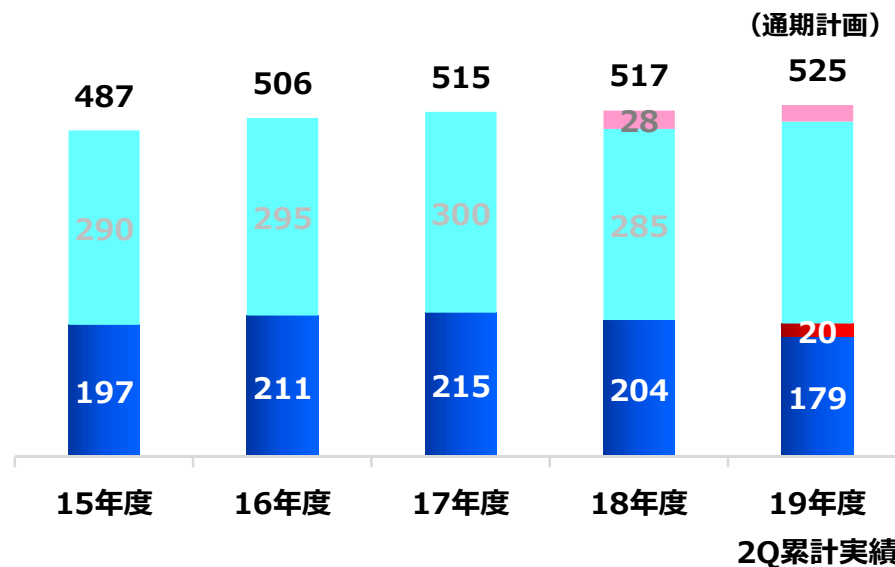
(3) NTTグループ° (モバイル)

- ◆ 4Gの新周波数(3.4GHz)基地局工事の増加を期待
- ◆ 5G受注スタート、当初より前倒しで基地局工事が進む場合に備えて施工体制を準備

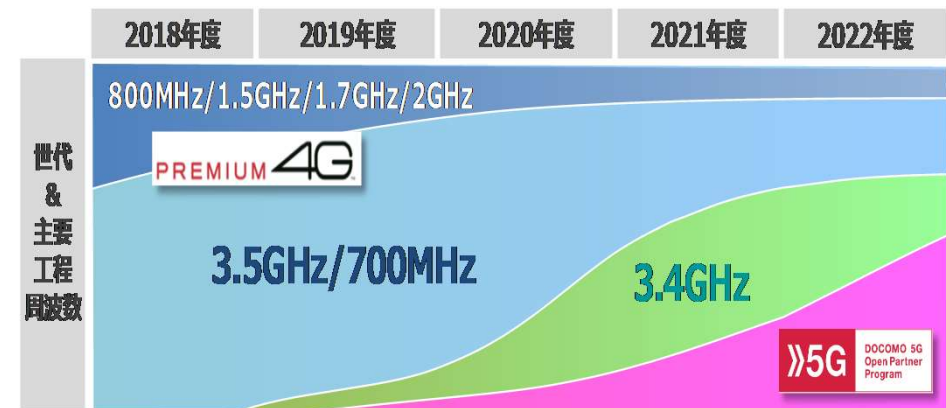
■ NTTグループ° (モバイル) の売上高推移 (連結)

(単位：億円)

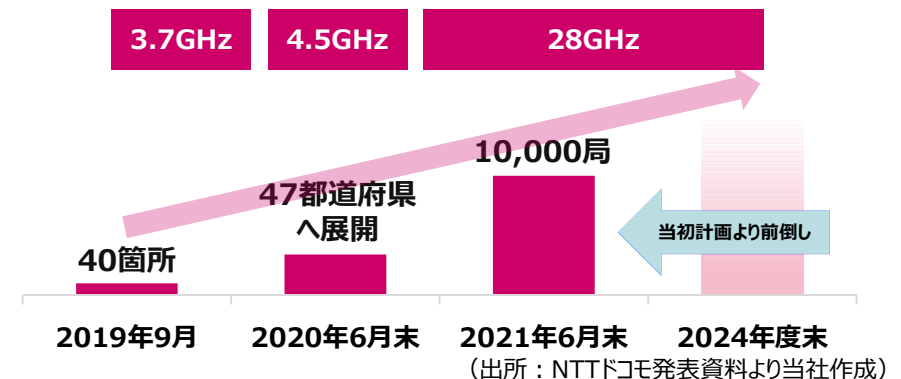
■ 従来エクシオG 2Q累計実績 ■ 西日本3社 2Q累計実績
■ 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分



■ NTTドコモの主要工程イメージ (当社想定)



■ NTTドコモの5Gネットワークの構築



2. 2019年度 通期見通し

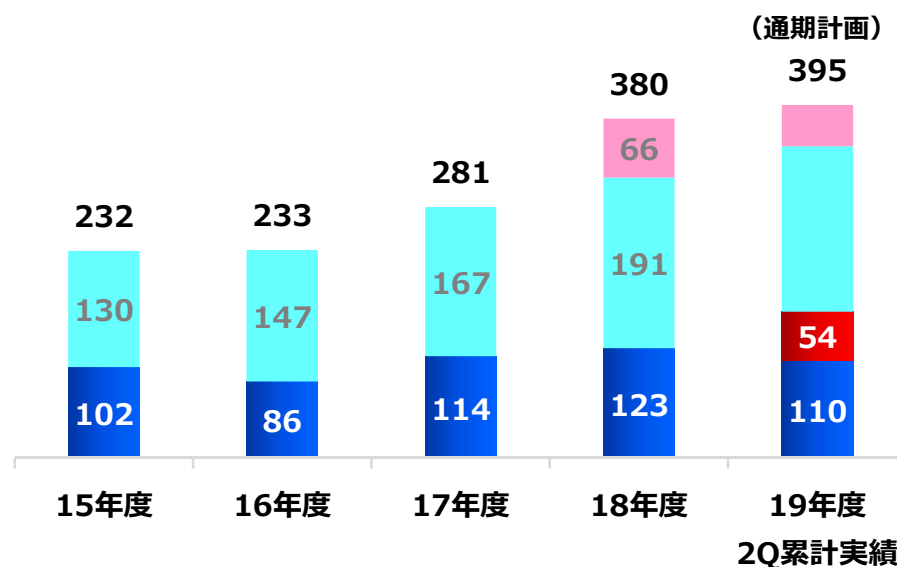
(4) NCC

- ◆ ソフトバンクからの受注は好調で、全体で前年度以上の売上を見込む
- ◆ 楽天の無線基地局工事も本格的にスタートし、西日本3社と連携して対応中

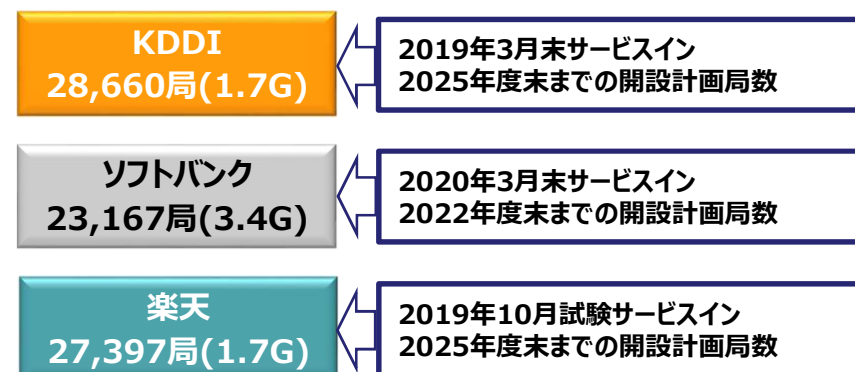
■ NCCの売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 従来エクシオG 2Q累計実績 ■ 西日本3社 2Q累計実績
■ 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分

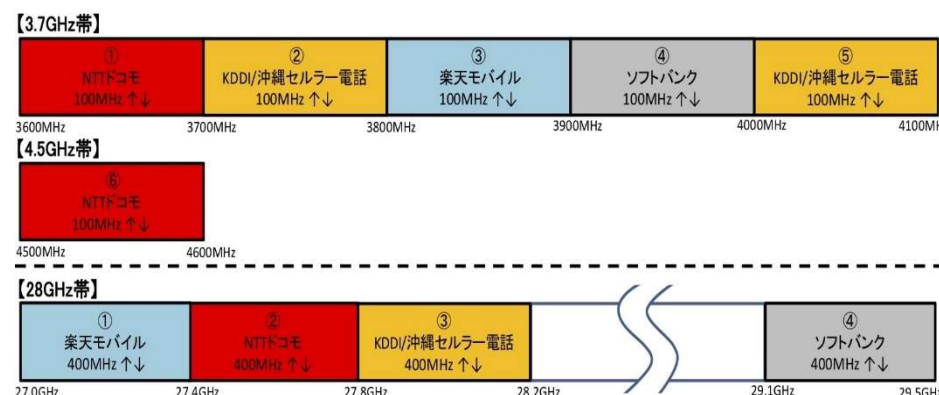


■ 4G新周波数1.7G、3.4G基地局の開設計画数



（出所：総務省総合通信基盤局資料より当社作成）

■ 5Gの周波数割り当て結果



2. 2019年度 通期見通し



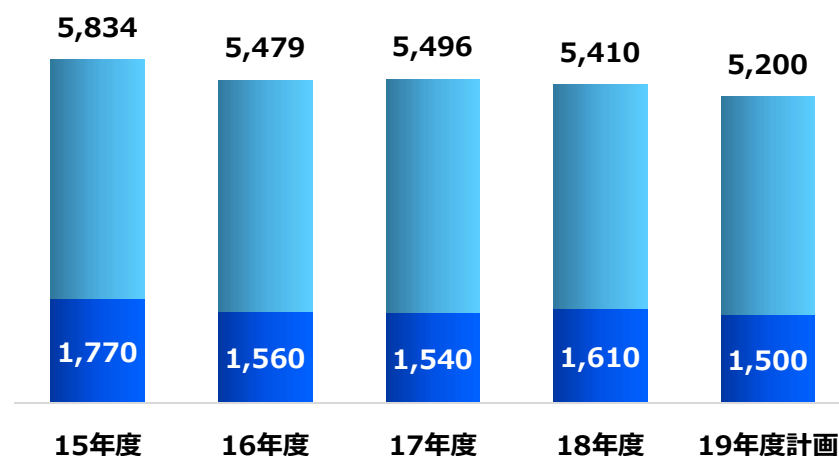
<参考> 主要通信キャリアの設備投資動向

(出所：通信キャリア各社発表値)

(単位：億円)

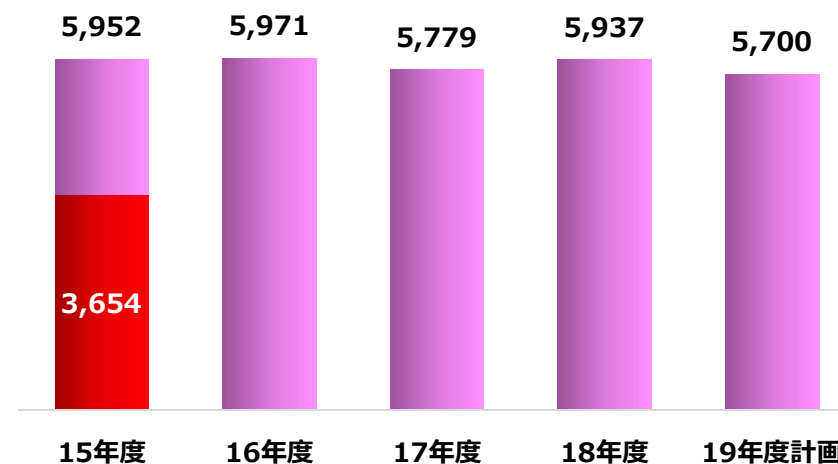
■ NTT東西

■ うち光関連



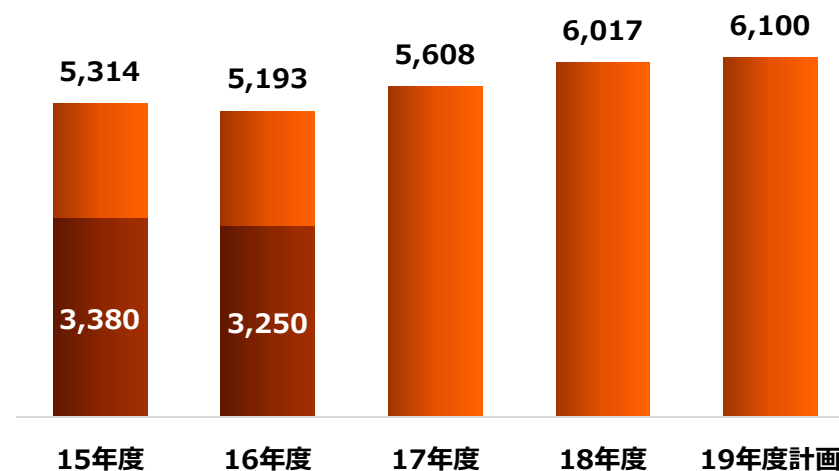
■ NTTドコモ

■ うちLTE関連

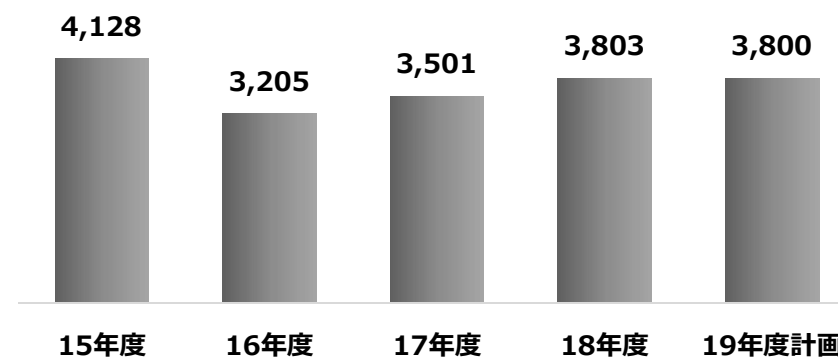


■ KDDI

■ うちモバイル



■ ソフトバンク



2. 2019年度 通期見通し

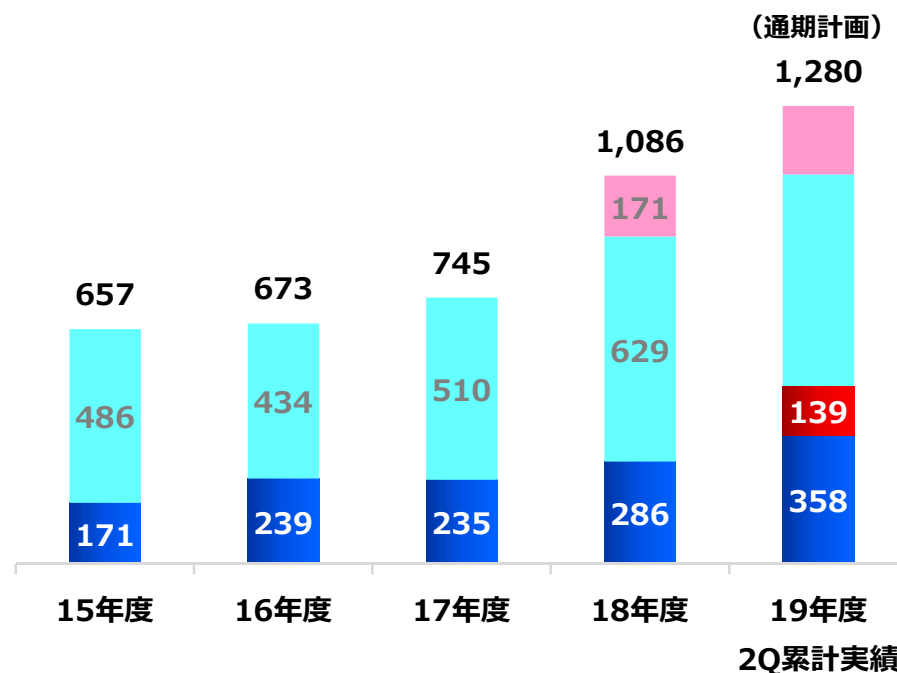
(5) 都市インフラ

- ◆ 700MHzテレビ受信対策工事は下半期に減少傾向も、高水準な売上を見込む
- ◆ メガソーラーやアースシャトル工事で大型受注があり、今後も大規模案件の獲得を狙う

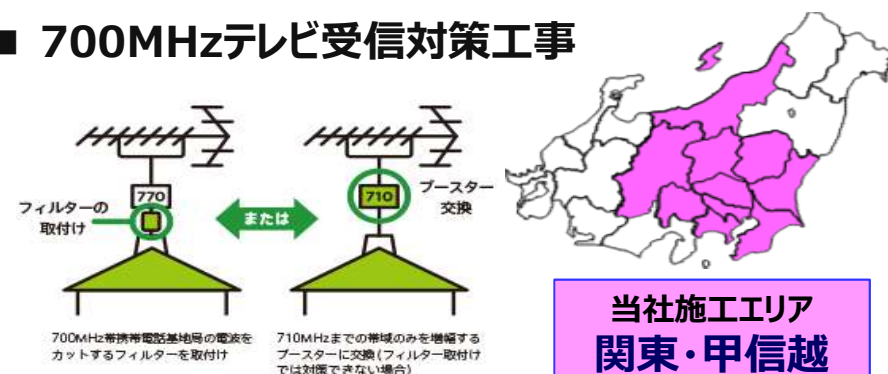
■ 都市インフラの売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 従来エクシオG 2Q累計実績 ■ 西日本3社 2Q累計実績
■ 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分



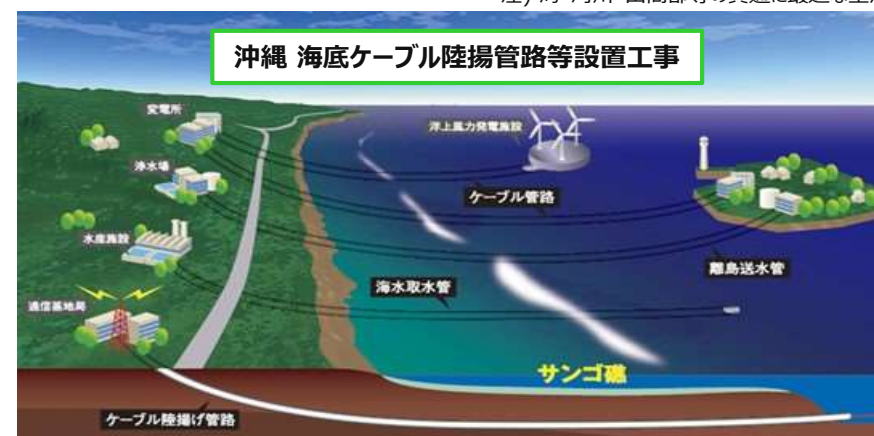
■ 700MHzテレビ受信対策工事



（出所：一般社団法人700MHz利用推進協会HPより当社作成）

■ 新たにアースシャトル工法に着手

注）海・河川・山間部等の貫通に最適な工法



2. 2019年度 通期見通し

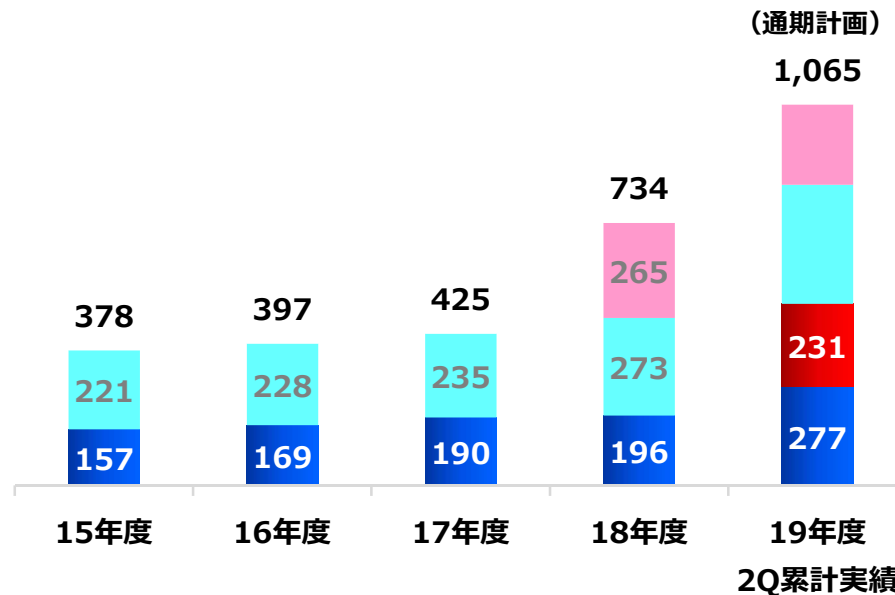
(6) システムソリューション

- ◆ クラウド分野など新しいソリューション領域の拡大に引き続き注力
- ◆ グローバルはM&Aにより地盤を強化し、APAC地域での事業拡大を推進

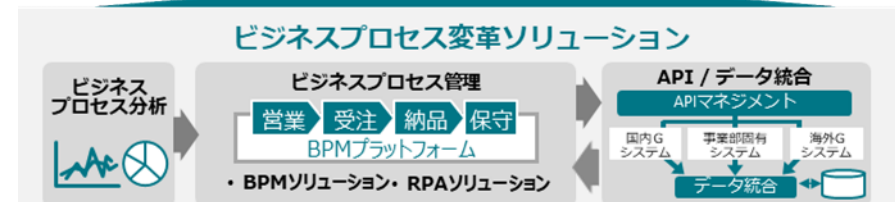
■ システムソリューションの売上高推移（連結）

（単位：億円）

■ 従来エクシオG 2Q累計実績 ■ 西日本3社 2Q累計実績
■ 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分

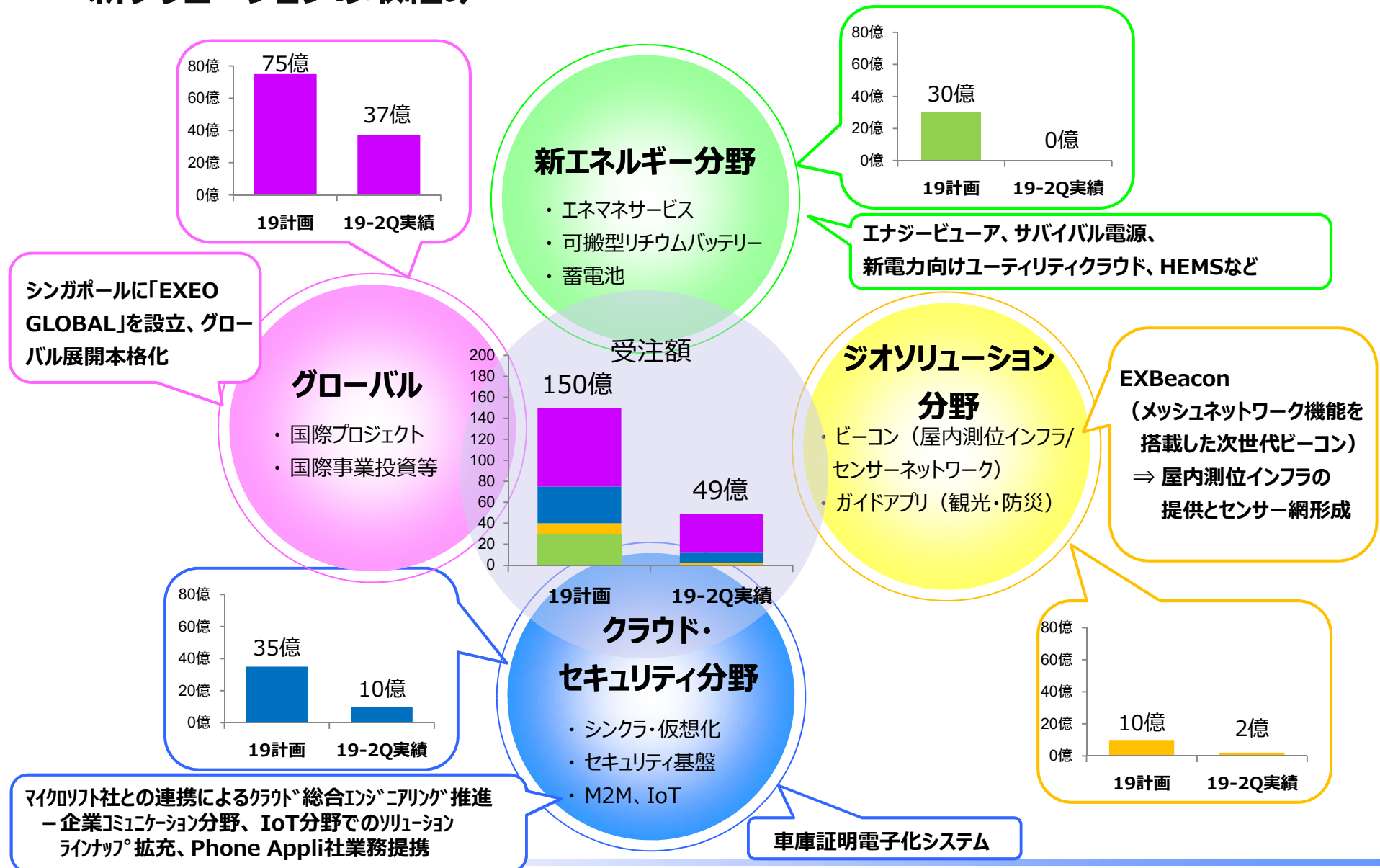


■ ソリューションマップ（付加価値拡大構想）



2. 2019年度 通期見通し

■ 新ソリューションの取組み



2. 2019年度 通期見通し

<参考> グローバル事業

EXEO GLOBALを起点に、
APAC地域での事業拡大を推進



2018年1月にタイに
ICTソリューション等を手掛ける
EXEO ASIA を設立



マニラ近郊に開設したトレーニングセンタ外観

日本国内の研修施設と連携して、グローバルで活躍できる技術者を育成
(2018年1月 野田(当時)厚生労働大臣が上記トレーニングセンタを視察)

日本国内の研修施設・・・中央研修センタ(埼玉県)
(2019年7月 根本厚生労働大臣が同研修センタを視察)

MGエクシオ(フィリピン) では長年、通信キャリア工事を担う

- ・現地の大手通信キャリアのアクセス&モバイル工事のみならず保守事業も手掛ける
- ・鉄道通信・道路関連工事などの都市インフラ事業にも進出

東南アジアにおける
事業基盤を整備

・フィリピン ・タイ ・シンガポール

・空港ICT ・工業団地ICT
・データセンタICT
・高速道路通信 ・鉄道通信

2018年11月にシンガポールの電気・総合設備工事会社
LAEグループをグループ化

名 称	Leng Aik Engineering Pte.Ltd.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	電気設備工事、総合設備工事
資 本 金	150万SGD
従 業 員 数	約260名

2019年10月にシンガポールの空調設備工事等を手掛ける
Winner Engineeringをグループ化

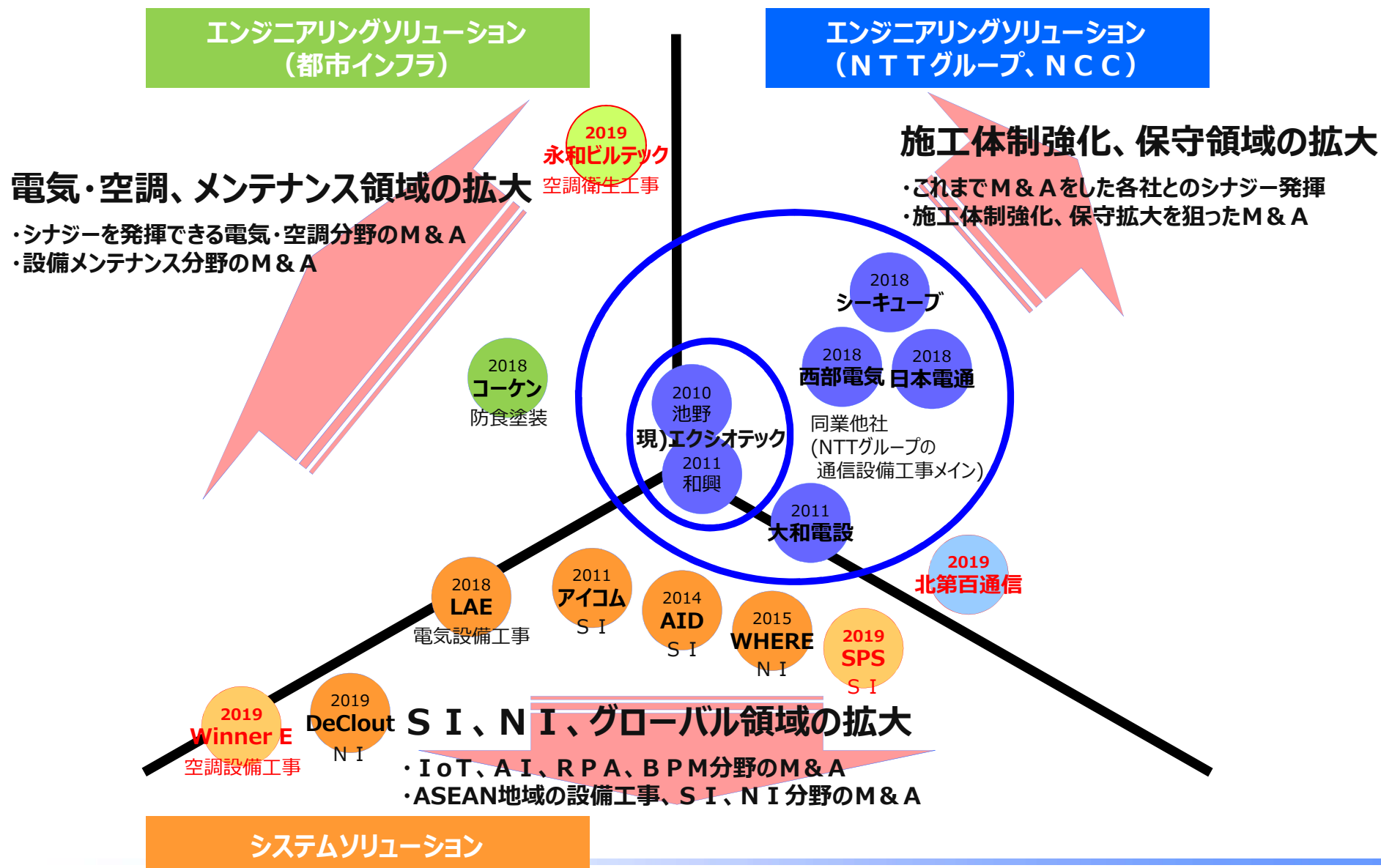
名 称	Winner Engineering pte.Ltd.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	空調設備の設計・施工、電気工事
資 本 金	150万SGD
従 業 員 数	約130名

2018年11月にシンガポールに海外子会社の運営管理をする
EXEO GLOBAL Pte.Ltd.を設立し、2019年3月にシステム
ソリューション事業をグローバルに展開する**DeClout**をグループ化

名 称	DeClout Limited
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	ITインフラストラクチャの販売・サービスとクラウドサービス
資 本 金	114百万SGD
従 業 員 数	約630名

3. M&A戦略

(1) 事業領域別の展開イメージ



4. ESG、SDGsに関する取り組み

(1) ESGの取り組み

E 環境

- ・ CO₂排出量の低減 ⇒ 電力・ガソリン使用量の前年度比 1 %削減
- ・ グリーンエネルギーの利用、森林保護 ⇒ 太陽光発電事業、エクシオの森林など
- ・ グリーン調達の推進 ⇒ エコ製品購入率 63 %以上

～「エクシオの森林」活動～

当社は、創立50周年を契機に、地球温暖化防止と地域社会への貢献を強く意識し、現在全国5か所で地域の森林管理局と分収育林契約※を結んでいます。それぞれを「エクシオの森林」と名付け、国有林の保全と社員および家族の親睦を目的として活動しています

※伐採しないことを前提とした国有林の保全活動契約

当社株式は、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に採用されています
(2019年6月現在)



※DS : ダイバーシティ、WLB : ワーク・ライフ・バランス

S 社会

- ・ DS、WLB※の推進 ⇒ 女性新卒採用比率 25 %以上、総労働時間短縮など
- ・ 安全・品質の確保 ⇒ 重大事故 0 件/年、品質理念の徹底と継続教育など
- ・ 社会・地域への貢献 ⇒ 自然災害時の復旧・復興対応、地域清掃活動など

G ガバナンス

- ・ コーポレートガバナンスの強化 ⇒ 取締役会の実効性評価の開示など
- ・ コンプライアンスの徹底 ⇒ 委員会の開催、内部通報制度の利用促進など
- ・ リスクマネジメントの適切管理 ⇒ 業務プロセスリスクの特定、BCP強化など

4. ESG、SDGsに関する取り組み

(2) SDGsへの取り組み

① インフラ事業を通じた安心・安全な社会の実現

誰もが安心・安全で暮らせる街づくりを実現
自然災害にも強いインフラ構築に貢献



② ソリューション事業を通じた豊かな社会の実現

IoT技術を通じて社会的な課題の解決や豊かな社会の実現



③ 地球環境の保全と循環型社会の実現

資源の循環、資源の有効利用を促進、地球温暖化防止に
向けた社会の実現



④ ステークホルダーとの 良好なコミュニケーションを実現

ステークホルダーの期待に応えるため、良好なコミュニケーションを
高め、課題を解決



5. 株主価値の向上



(1) 株主還元施策

- ◆ 2018年度配当から、DOEを3.5%目途に引き上げ株主還元を強化
- ◆ 2019年度上半期に50億の自己株式取得を実施

■ 2019年度 年間配当予定 : 80円

項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予定
	DOE 3%	DOE 3%	DOE 3.5% (下期から経営統合)	DOE 3.5%
1株当たり年間配当	46円	50円	70円	80円
年間配当総額	43.8億円	47.8億円	73.1億	89.7億
配当性向	31.7%	26.4%	※32.9%	41.2%

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん)を差し引いて計算

■ 2019年度上半期に実施した自己株式取得の概要

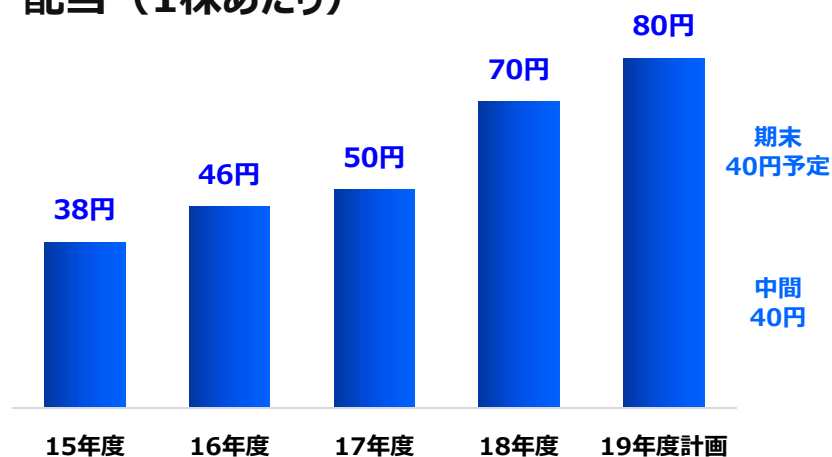
- ◆ 取得理由 機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上
- ◆ 取得総額 50億円
- ◆ 取得株式総数 193万株
- ◆ 取得期間 2019年5月15日 ~ 2019年9月30日

5. 株主価値の向上

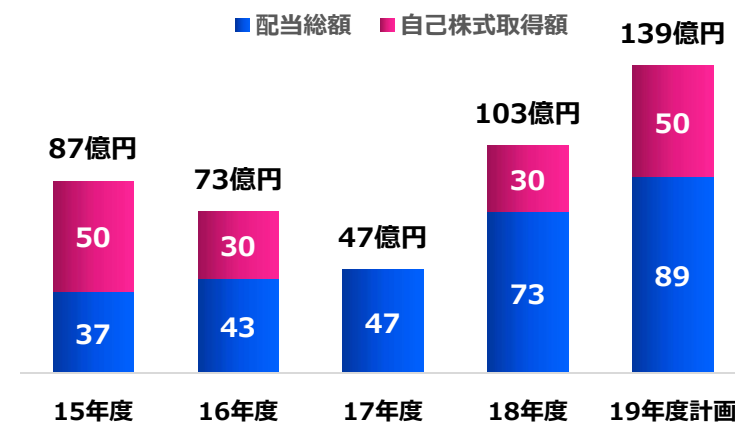


(2) 2019年度株主還元計画等

■ 配当（1株あたり）



■ 総還元額（配当総額＋自己株式取得総額）

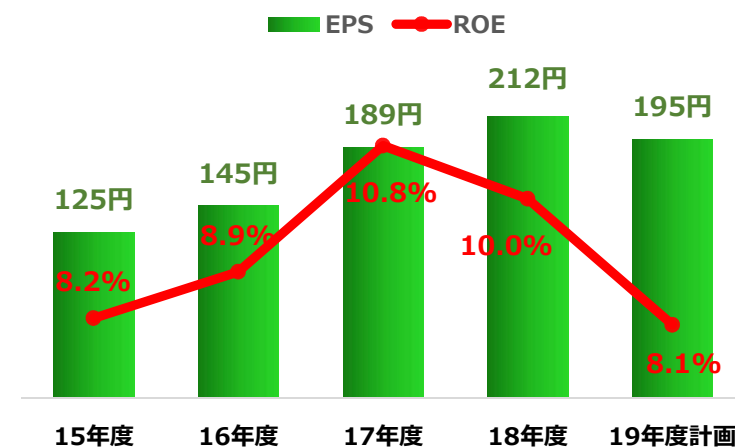


■ 自己株式取得



■ ROE、EPS

注) 18年度のROEとEPSは経営統合に伴う特別利益(負ののれん)を差し引いて計算



6. トピックス

(1) 北第百通信電気、サン・プランニング・システムズをグループ化

- ◆ 北海道エリアにおける事業規模の拡大を狙い北第百通信電気をグループ化
- ◆ 市場競争力のあるITツールを保有するサン・プランニング・システムズをグループ化

■ 北第百通信電気の概要

名称	北第百通信電気 株式会社
所在地	北海道札幌市中央区 南5条西22丁目2番12号
代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 渡辺 敏郎
事業内容	電気通信工事業
資本金	24百万円
設立年月日	1964年4月23日

■ サン・プランニング・システムズの概要

名称	株式会社 サン・プランニング・システムズ
所在地	東京都中央区新川1-21-2 茅場町タワー12階
代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 白羽 毅
事業内容	システムインテグレーション事業
資本金	200百万円
設立年月日	1980年1月14日

6. トピックス



(2) 永和ビルテック、Winner Engineeringをグループ化

- ◆ 九州エリアにおける都市インフラ事業の拡大を狙い永和ビルテックをグループ化
- ◆ シンガポールで空調設備工事などを手掛けるWinner Engineeringをグループ化

■ 永和ビルテックの概要

名称	株式会社永和ビルテック
所在地	福岡県田川市大字川宮915-1
代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 中村 克己
事業内容	空調・衛生設備工事業
資本金	21百万円
設立年月日	1986年10月16日

■ Winner Engineeringの概要

名称	Winner Engineering Pte.Ltd.
所在地	18 Woodland Industrial Park E1 Singapore 757738
代表者の 役職・氏名	Managing Director Loi Sing Lee
事業内容	空調設備の設計・施工、電気工事業
資本金	150万SGD
設立年月	1989年7月20日

見通しに関する注記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【お問合せ先】

経営企画部 I R 担当

今井、宮本、深堀

T E L 03-5778-1073

U R L <http://www.exeo.co.jp>

当社ホームページに各種 I R 資料を掲載しております。
ご利用ください。